

観光創造専攻

平成27年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000字の日本語（横書き）で解答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白を含めて計算する。

以下の表は、日本の『観光立国推進基本計画』（2012年3月30日閣議決定）において、「新たな観光旅行の分野の開拓」という項目で示された、今後日本が推進すべきニューツーリズムの7つの具体例である。

これら7つの中から、今後、日本の特性を活かした観光旅行分野として、あなたが最も発展可能性があると考え（あるいは最も振興すべきと考える）ツーリズムの類型をひとつ選び、その理由について、具体的論拠を挙げつつ論理的に説明しなさい。

なお、表中の「キ」については、複数の類型が列挙されている。「キ」を選択する場合は、それらの中から、ひとつを選んで（例えば「ファッション」）解答すること。

表：『観光立国推進基本計画』で示されたニューツーリズムの7つの具体例

ア	エコツーリズム
イ	グリーン・ツーリズム
ウ	文化観光
エ	産業観光
オ	ヘルスツーリズム
カ	スポーツツーリズム
キ	ファッション・食・映画・アニメ・山林・花等を観光資源としたニューツーリズム

出所：『観光立国推進基本計画』平成24年3月30日閣議決定，pp.55-57から抜粋。